

全ての写真を自動保存 整理と検索が超快適に



●「高画質」設定なら無料かつ無制限に写真を保存

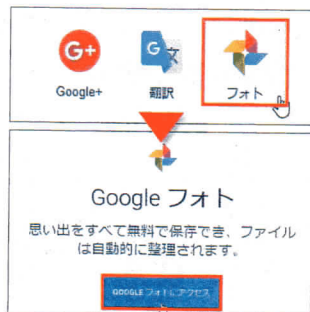


図1 Googleサービス一覧のメニューから「フォト」を選択(上)、「GOOGLE フォトにアクセス」を押す(下)

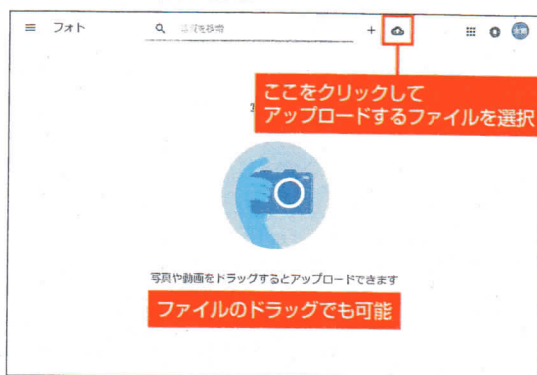


図2 Googleアカウントでログインした直後の画面。ドラッグ操作などで写真ファイルをアップロードする

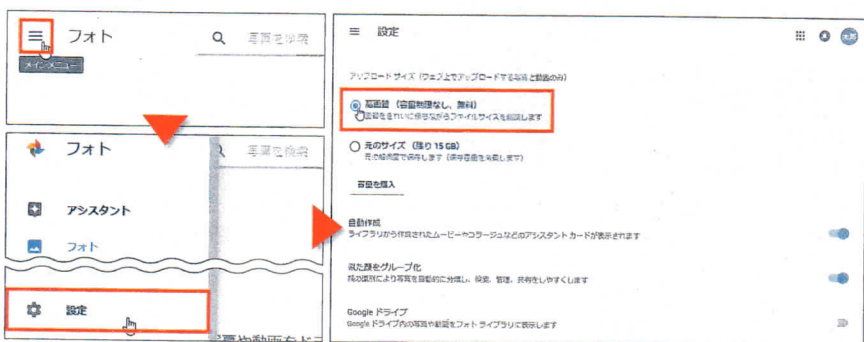


図3 容量無制限で使うには、メインメニューから「設定」を選択し(左)、「高画質」を選択(右)。メインメニューから「フォト」を選択して元の画面に戻る

デジタルカメラやスマートフォンの普及で、パソコンに保存している写真の画像ファイルは増え続けている。一つひとつの容量が大きく、検索もしづらいこれらのファイルの整理にお悩みなら、お薦めしたいのが「Googleフォト」だ。

解像度の制限付きとはいえ、無料でアップロードし放題なのが大きな魅力だ。加えて、画像の内容や撮影地から自動的にキーワードを付け、画像検索を可能にするなど、画像管理ツールとしても優れている。

WebブラウザでGoogleフォトにアクセスし、Googleアカウントでログインすれば、画像をアップロードできる(図1、図2)。無料で利用する場合は「高画質」設定を選択する(図3)。ただしこの場合、写真は1600万画素、動画は1080pを上限に自動圧縮されるので注意しよう。

便利技 パソコン内の写真は自動でアップロード

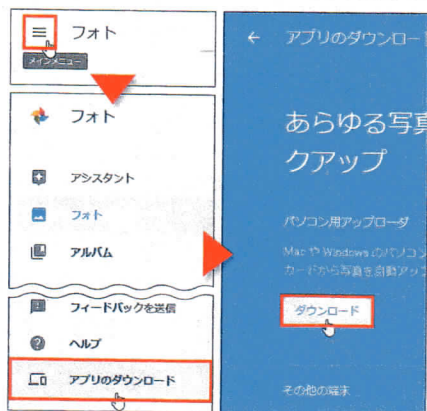


図4 メニューから「アプリのダウンロード」を選択し(左)、「ダウンロード」をクリック(右)。インストールを行う

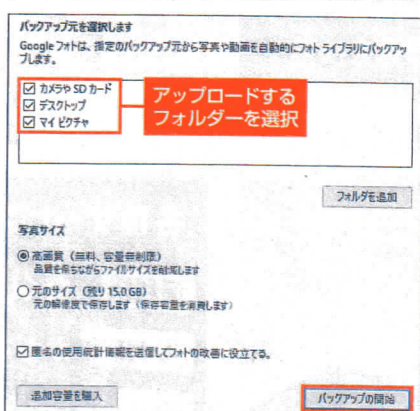


図5 自動アップロードするフォルダーにチェックを付け、「バックアップの開始」を選択すると、アップロードが始まる

容量無制限のGoogleフォトなら、全ての写真をアップロードしておき、Googleフォトの「スゴ技」機能で自在に検索するという使い方が便利だ。

とはいえ、写真をパソコンに保存するたびにアップロードを指定するのは手間。専用ソフトをインストールすれば、指定したフォルダーに入った画像や動画を自動的にアップロードできる(図4、図5)。なお、最初はたくさんのファイルをアップロードするので、長時間を要する。

解像度▼

画像ファイルの場合は、画像を構成する画素数を指す。例えば、縦方向と横方向がいずれも4000画素なら、4000×4000で1600万画素とも表記する。

1080p▼

デジタル動画でのHD画質の一つ。水平1920画素×走査線1080本の解像度になる。「p」はパソコンでの再生に向くプログレッシブを意味する。

用語解説

スゴ技 アップロードした写真は自動分類で楽々整理

たくさんの写真画像は、まずは撮影日順に並べておくのがお勧めの整理方法だ。Googleフォトなら、アップロードした全ての写真が撮影日順に表示される(図6)。画面右側に表示される目盛りを使えば、数年前の古い写真も容易に探せて便利だ。

さらに、アップロード後しばらくしたら、メニューから「アルバム」画面を開いてみよう(図7)。「アルバム」は自由に写真をピックアップする機能。この画面上端には「人物」「撮影場所」「被写体」などの分類が表示され、分類ごとに写真が自動的に整理されている。写真によっては誤った分類に入っている場合もあるが、おおむね正確なので、必要な写真を効率的に探せるはずだ。



図6 アップロードした写真は「フォト」画面で自動的に日付の新しい順に並ぶ。画面右側にマウスポインターを合わせれば、表示される目盛りで撮影時期を選択できる



図7 メインメニューで「アルバム」画面に切り替え、上端にある「人物」「撮影場所」「被写体」などをクリックすると(上)、自動分類された写真のグループが並ぶ(下)

スゴ技 いろいろなキーワードで写真を検索できる

アップロードした写真の探し方は、撮影日や自動分類からだけではない。Webページの画面には表示されていないが、Googleフォトでは自動分類の項目名にないさまざまなキーワードも各写真に設定されている。そのため、「花」「寿司」「ハワイ」といったキーワードを、画面上側の検索欄に入力して探すことも可能だ(図8)。例えば、「魚」で検索すれば、水族館から焼き魚の写真までリストアップされる(図9)。

また、検索欄を選択した時点で検索用の画面に切り替わるので、そのまま撮影場所などのキーワードや顔認証による「人物」を選択することもできる(図10)。



図8 アップロードしたフォトの一覧で「写真を検索」をクリック(左)。検索条件を指定する(右)。キーワード入力のほか、人物や撮影地の指定が可能



図9 「魚」というキーワードでの検索結果の例。水族館での写真が並んだ



図10 図8右で人物の顔をクリックすると、その人物の写真を一覧表示できる

便利技 | 好きな写真を選んで「アルバム」を作成する



図11 画面上部の「作成」ボタンをクリックして「アルバム」を選択(左)。アルバムに載せる写真を選択して「作成」をクリック(右)



図12 アルバムのタイトルを入力して「完了」をクリックすると(上)、アルバムができる(右)

作成したアルバムは「アルバム」画面に並ぶ

旅行や行事など、イベントごとの写真は「アルバム」として整理しておく。アルバムを作る場合、検索欄右にある「作成」ボタンをクリックして、「アルバム」を選択する(図11)。写真の選択画面になるので、収録したい写真を選択し、「作成」をクリックする。アルバムのタイトルを入力すれば完成だ(図12)。表紙の写真を差し替えたり、個々の写真を補正したりといった変更も可能。なお、アルバムは「フォト」画面で一覧できる写真と同じデータを表示しており、データ重複の心配は無用だ。

「作成」ボタンからはアルバムのほか「アニメーション」「コラージュ」も選べる。「共有アルバム」は、アルバム作成後に設定してもよい。

スゴ技 | 「アシスタント」がアルバムやパノラマ写真を自動作成



図13 メニューの「アシスタント」に赤い丸が表示されたらクリックして画面を切り替えよう(左)。新たに自動作成された項目があるので、それをクリックして内容を確認(右)

図14 気に入ったのなら「ライブラリに保存」を押す



図15 ライブラリに保存されたパノラマ写真を見ると、複数枚の写真から合成されていることが分かる



図16 往復の経路を示す地図も入ったアルバムができている。アルバムタイトルなどは自由に編集も可能

アルバム作成は楽しい半面、手間の掛かる作業でもある。Google フォトでは同時期に同じ場所で撮影された写真をまとめてアルバムにしたり、連続して撮影した一連の写真をコラージュやアニメーションにしたりといったことも自動的に行う。

メニューの「アシスタント」に赤い丸が表示されたら、新しく自動作成された項目があるので、クリックして開いてみよう(図13)。自動作成の内容が気に入れば、「アルバムに保存」や「ライブラリに保存」を選ぶ(図14~図16)。保存したアルバムは再編集が可能。ライブラリに保存したものは、「フォト」の撮影日順で確認できる。

アニメーション▼

Googleフォトでは、同じ場所ではぼ連続して撮影した複数枚の写真を、次々と切り替えながら連続して表示する、擬似的な動画を指す。自動作成が可能。

コラージュ▼

Googleフォトでは、同じ場所ではぼ同じ時刻に撮影した複数枚の写真を、見栄えの良いレイアウトで組み合わせた合成写真を指す。自動作成が可能。

用語解説

便利技 旅のアルバムはみんなで共有

撮影した旅の写真を知人に見せるなら、写真やアルバムを開いて「共有」ボタンをクリック(図17)。表示されるリンクをコピーして、相手にメールなどで伝えればよい(図18)。自宅など個人的な位置情報が含まれている場合、「リンクで共有するファイルの位置情報を削除」の設定をオンにしておけば安全だ(図19)。



図17 写真やアルバムなどはほかの人にも見せられる。共有するアルバムなどを開いて「共有」ボタンをクリック

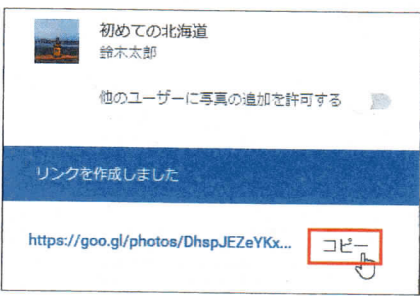


図18 表示されたリンクのURLのコピーし、メールなどで相手に伝える

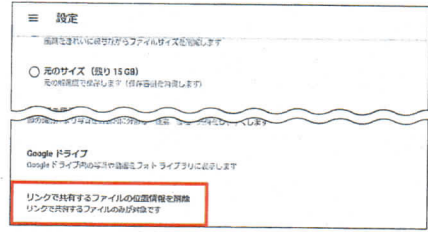


図19 自宅など個人的な位置情報が気になる場合は、「メニューを開いて「設定」を選択し、「リンクで共有するファイルの位置情報を削除」をオンにしておこう

便利技 写真編集も可能

アップロードした写真の明るさや色合いの補正、角度調整、トリミングなども画面上でできる。加工したい写真を開き、「編集」ボタンをクリックしよう(図20)。編集済みの写真を元に戻すことも可能だ。

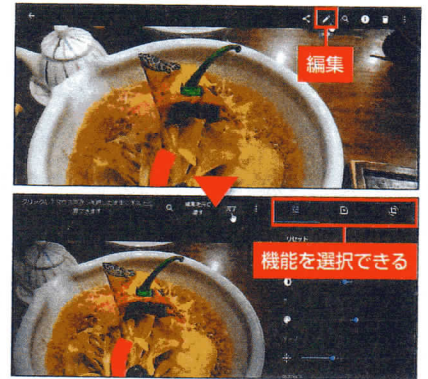


図20 写真を開いて「編集」ボタンをクリックし(上)、補正や切り取りなどの編集を行える(下)

便利技 スマホの撮影写真も自動アップロード

スマホのユーザーなら、スマホのカメラ機能で撮影した写真も上手に管理しよう。Googleフォトなら、撮影と同時にスマホからアップロードする設定が可能だ。

Androidスマホなら標準の「フォト」がGoogleフォトのアプリ版だ(図21)。iPhoneなら「Googleフォト」アプリをApp Storeからインストールする。いずれも「設定」画面で「バックアップと同期」をオンにすればよい(図22、図23)。Wi-Fi接続時だけに制限したいなら、同じ画面で「モバイルデータ通信を使用して写真をバックアップ」をオフにする。アップロード済みの写真をスマホから自動で削除する設定もある(図24)。



図21 Androidでは「フォト」、iPhoneでは「Googleフォト」を起動する

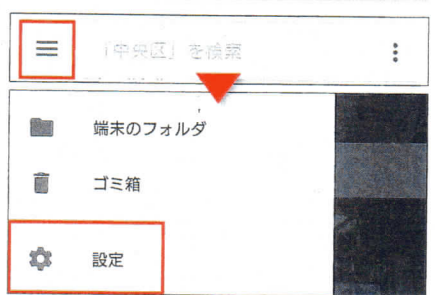


図22 メインメニューをクリックし(上)、「設定」をクリック(下)

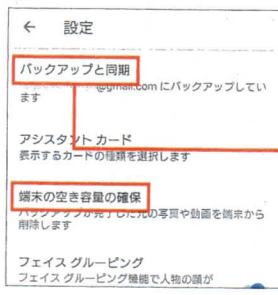


図23 「バックアップと同期」をクリックし(左)、この機能をオンにする(右)

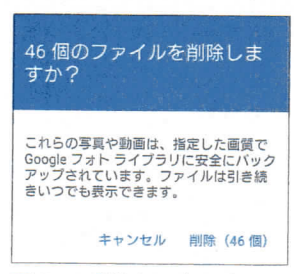
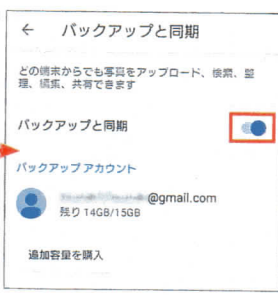


図24 「端末の空き容量の確保」で、バックアップ時に元画像を削除できる